

企業の 52.8%が正社員不足 4年連続で 5 割を超える

大企業の正社員不足は 77.5%で過去最高

千葉県・人手不足に対する企業の動向調査(2026 年 7 月)



本件照会先

竹内 基(調査担当)
帝国データバンク
千葉支店 情報部
043-221-0404(直通)

発表日

2026/09/07

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

SUMMARY

正社員の人手不足を感じている県内企業の割合は、2026 年 7 月時点で 52.8%となり、7 月としては 4 年連続で半数を超え、前年より 1.3pt 上昇した。非正社員不足も 33.6%となり、5 年連続で 3 割超となった。規模別では大企業の正社員不足が 77.5%と過去最高で、人手不足感が特に強い。業界別では正社員・非正社員ともに「小売」が最多で、正社員は「建設」「運輸・倉庫」が高水準だった。

株式会社帝国データバンクは、「雇用過不足」に関するアンケート調査を実施した。

雇用の過不足状況に関する動向調査は 2006 年 5 月より毎月実施し、今回は 2026 年 7 月の結果をもとに取りまとめた。

調査期間:2026 年 7 月 17 日～7 月 31 日(インターネット調査)

調査対象:全国 2 万 2350 社、千葉県 717 社

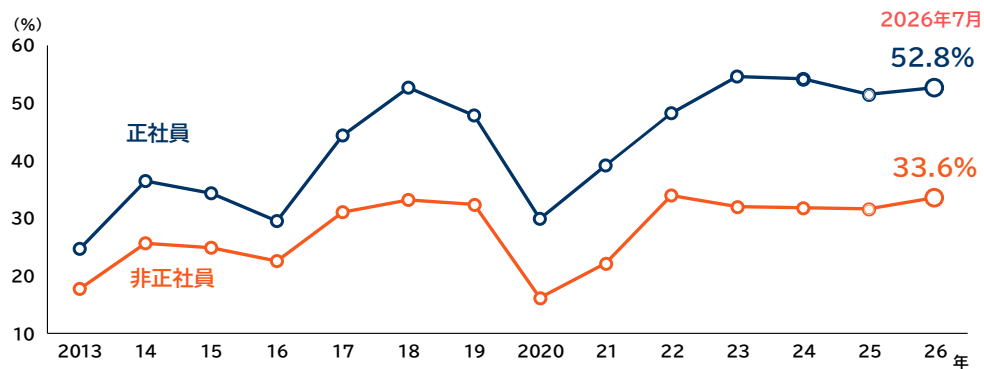
有効回答企業数:全国 1 万 518 社(回答率 47.1%)、千葉県 391 社(同 54.5%)

正社員不足の企業は 52.8%、7 月としては 4 年連続で半数超

2026 年 7 月時点で、正社員の不足を感じている県内企業の割合は 52.8%となっており、7 月としては 2023 年以降 4 年連続で 50%を超えた。前年同月(2025 年 7 月、51.5%)から 1.3pt 上昇し、高水準で推移している。

一方、非正社員の不足を感じている企業は 33.6%で、正社員に比べ 19.2pt 下回ったが、前年同月(31.7%)から 1.9pt 上昇し、2022 年以来 5 年連続で 30%を超えた。

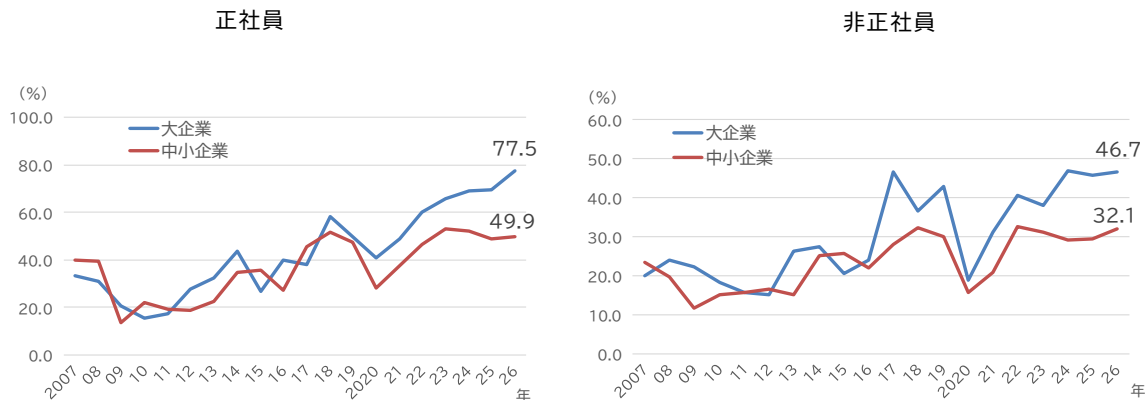
正社員・非正社員の人手不足割合の推移（各年 7 月時点）



規模別:「大企業」の正社員不足が 77.5%で過去最高

規模別にみると、「大企業」の 77.5%が正社員の不足を感じており、7 月としては 2007 年以来、過去最高の水準となった。一方、「中小企業」は 49.9%で過去 4 番目の高水準となったが、「大企業」を 27.6pt 下回った。また、非正社員の不足を感じている「大企業」は 46.7%、「中小企業」は 32.1%となり、14.6pt の差があった。「大企業」では、正社員・非正社員のいずれも不足感が顕著になっている。

人手不足割合の推移 規模別



業界別：正社員・非正社員とも「小売」がトップ

正社員の不足を感じている企業の割合を主要 7 業界で見ると、「小売」が 59.1%（前年同月比 12.7pt 増）で最多となった。また、「建設」（53.7%）、「運輸・倉庫」（54.5%）も千葉全体の平均（52.8%）を上回った。なお、「小売」以外の 6 業界はいずれも前年同月比減少し改善した。

非正社員の不足を感じている企業の割合は、「小売」が 43.5% でトップ。次いで「サービス」（41.0%）、「建設」（34.6%）が続き、千葉全体の 33.6% を上回った。しかし、この 3 業界は前年同月に比べて減少し改善している。

人手不足割合 業界別

正社員				非正社員			
	2024年7月	2025年7月	(%) 2026年7月		2024年7月	2025年7月	(%) 2026年7月
建設	73.8	↓ 67.7	↓ 53.7	建設	38.1	↓ 36.4	↓ 34.6
不動産	25.0	↑ 28.6	↓ 19.0	不動産	10.0	↑ 18.2	↑ 27.8
製造	46.7	↓ 35.5	↓ 31.9	製造	15.1	↑ 15.4	↑ 28.1
卸売	40.3	↑ 45.2	↓ 43.4	卸売	25.0	↓ 17.9	↑ 28.8
小売	60.0	↓ 46.4	↑ 59.1	小売	38.5	↑ 50.0	↓ 43.5
運輸・倉庫	56.3	↑ 70.6	↓ 54.5	運輸・倉庫	36.4	↓ 30.8	↓ 14.3
サービス	59.0	↓ 57.8	↓ 48.1	サービス	50.0	↓ 48.1	↓ 41.0

< 参考 > 正社員・非正社員の人手不足割合 月次推移

